



一般社団法人 都市計画コンサルタント協会

## 協会レビュー 2019 年第 3 号

### 協会での取り組み

国交省職員と本音で意見交換しませんか？

## 「都市計画に係る中堅・若手技術者交流会」 今年も開催します！

協会では、国土交通省で都市計画行政を担う担当者と実務者である民間コンサルタントが胸襟を開いて交流できる機会として、「都市計画に係る中堅・若手技術者交流会」を平成 20 年から運営しています。

本号では、平成 30 年度の進め方（概要）と、交流会に参加した皆さんのご感想を紹介します！そして、令和になって最初の募集も間もなくスタートします。より多くの方々からの応募をお待ちしています！

（編集チーム 伊東）



■ 交流会の様子

以下は、事務局を務められた辻隆治様（まちづくり技術者交流部会部会長、（株）サンワコン）にとりまとめいただきました。

### 平成 30 年度の交流会の進め方

交流会では、毎回、コンサルタント側の参加者が準備したテーマをもとに、都市計画に係る様々な問題・課題やそれらに対する今後の展望、実務面での上手い対処法等について意見交換し、時には少し脱線もしながら、有益な情報を共有してきました。

しかし、平成 29 年度まではいくつかのテーマについて全員で意見交換していたため、一人当たりの発言機会が少ない等の課題が生じてきました。そこで、平成 30 年度は、2つのグループに分かれての運営を試みました。その結果、参加者の皆さんの発言機会も増え、なかなかいい雰囲気のできたのではないかと思います。



## 参加者の皆さんの一言感想

以下に、平成 30 年度の参加者の皆さんの一言感想を集めてみました。参考にさせていただき、今年度も、より多くの方々からの応募があればと願っています。

### ■ 都市計画コンサルタントに求められる社会の要求に応えていきたい

(株式会社アール・アイ・エー 辰巳 寛太)

交流会に参加して印象に残ったのは、まちづくりや都市計画の技術に求められる解決すべき内容はかなり幅広いということです。今回のような交流を通じて、だれがそのような解決策を知っているかというネットワークを広げ、都市計画コンサルタントに求められる社会の要求に応えていきたいと思いました。ということで参加者の皆様、協会の皆様、引き続き、楽しく、よろしく願います。

### ■ 問題意識を共有でき、この場の議論に勇気をもらった

(八千代エンジニアリング株式会社 齋藤 み穂)

テーマに基づく意見交換の場は2回用意されていましたが、私は1回目を風邪で欠席してしまい、大変残念でした。2回目のテーマは「まちづくりの進め方」という大きな設定でしたが、そのためか、まちづくり、地方分権、民主主義に横たわる根源的な問題意識を皆さんと共有できたように思います。この場の議論に勇気をもらったと感じており、実務に活かせるよう、頑張りたいと思います。皆さんありがとうございました。

### ■ 様々な考え方やアプローチの方法など視野が広がった

(日本測地設計株式会社 大和田 幹男)

今回の交流会に参加して、広くまちづくりに関わる国土交通省、協会、コンサルタント各社の方々との意見交換することで、様々な考え方やアプローチの方法など視野が広がりました。今後も知見を得るための努力をしていかなければいけないと感じています。また、コンサルタントの技術者同士のつながりを持てる貴重な会だったと思います。このような会を開催していただいた関係者ならびに出席者の皆様、どうもありがとうございました。



## ■ より幅広い知識や情報を吸収していくことの必要性を改めて感じた

(株式会社福山コンサルタント 野村 久美)

交流会では、参加者は立場は異なるものの都市計画に携わる技術者同士として意見交換をすることで、問題意識や課題へのアプローチの方向性などにおいて共通している点や視点を変えた見方の気付きを得ることができ、大変有意義でした。都市計画は関連する分野が多岐にわたるため、このような機会を活かしより幅広い知識や情報を吸収していくことの必要性を改めて感じました。この度はありがとうございました。

## ■ 様々な領域の方とネットワークを構築し、知恵を結集することが求められる

(玉野総合コンサルタント株式会社 大家 英一)

意見交換では様々な視点やお考えを聞くことができ、大変刺激になりました。その中で、都市まち系は、どうすれば継続的に活用されるか・人を引きつけるかといったことを、計画する段階でもっとイメージする必要がある、そのために様々な領域の方とネットワークを構築し、知恵を結集することが求められるのかなと感じました。最終回に参加できず残念でしたが、大変良い機会をいただき、ありがとうございました。今後ともよろしく願いいたします。

## ■ 本音で議論できる大変充実した交流会

(パシフィックコンサルタンツ株式会社 伊東 博史)

私は、昨年度に引き続き2回目の参加となりました。同業他社の方だけではなく、国交省の方を交え、まちづくりについて何を考え、また、コンサルタントに何を期待されているのか、本音で議論できる大変充実した交流会だったと思います。興味を持った中堅・若手の皆さん、ぜひ一度参加されることをおススメします。最後に、このような機会をいただきありがとうございました。

## ■ この交流会をきっかけとした人的ネットワークは今後も大事にしていきたい

(株式会社URリンケージ 岸 望美)

入社して約20年、初めてこのような交流会に参加させて頂きました。全3回の交流会は、毎回時間が足りなくなるくらい、熱い議論がされ、3回では少ないと感じるほど、有意義な交流会でした。特に、発注者受注者の立場としてではなく国土交通省の方と意見交換ができたこと、同じ立場として日々業務を遂行しているコンサルタントの方々と思いを共有できたことは、私にとって大変貴重な経験となりました。また、この交流会をきっかけとした人的ネットワークは今後も大事にしていきたいと思っています。本当にありがとうございました。



## ■ 交流会で得た情報や視点、人脈を今後のまちづくりに活かしていきたい

(中央コンサルタンツ株式会社 中島 慎一郎)

私は前年に続いての参加でしたが、平成 30 年度の交流会では、グループを 2 つに分け、テーマ設定を工夫したことによって、より活発な議論が展開されました。議論を通じて、参加者の皆さまの都市計画・まちづくりに対する想いや問題意識などに触れることができ、新たな気づきに繋がりました。2 カ年にわたる交流会で得た情報や視点、人脈を今後のまちづくりに活かしていきたいと思います。ありがとうございました。

## ■ パートナーシップにより最適なソリューションを提供し続けることも新しい価値

(昭和株式会社 堀江 佑典)

私たち都市計画コンサルタントは、大きく変化している都市課題に直面しつつも、誰よりも社会の先を見据え、誰よりも豊かな未来を描き、誰よりも力強く行き先を指し示す役割が求められています。今回、民・官問わず多くの方と濃密なディスカッションをさせて頂き、行動力・洞察力・創造力を持ちつつ、より多くの方々とのパートナーシップにより変化する社会に対し最適なソリューションを提供し続けることも、都市計画コンサルタントの新しい価値であることを認識する機会となりました。関係者・参加者の皆様にはこの場を借りて御礼申し上げます。

## ■ 将来の都市の姿を描き、自らが出来ることを探り続けることがこの職業の魅力

(株式会社エイト日本技術開発 伊地知 大輔)

普段コンサルタントの皆さんが抱えている悩みについて、深く同感しつつも、改めてそれらと向き合っていくことの大事さを感じました。将来の都市の姿を描くことはなかなか難しく、その中で自らが出来ることを探り続けていくことが必要ですが、それがこの職業の魅力とも思えます。参加者および事務局の皆さんとともに、貴重な時間を過ごすことが出来ました。どうもありがとうございました。





## 令和元年度の募集が間もなくスタートします！

今年度も、交流会への参加募集を7月に予定しています。詳細が決まり次第、協会ホームページ（<http://www.toshicon.or.jp/>）などでお知らせします。今年度も多くのご応募、お待ちしております。

### 協会レビュー 2019年第3号（令和元年6月発行）

発行元 一般社団法人都市計画コンサルタント協会

〒102-0093 東京都千代田区平河町二丁目一番一八号 ハイツニュー平河3F

Phone 03-3261-6058 Fax 03-3261-5082 E-mail [info@toshicon.or.jp](mailto:info@toshicon.or.jp)

Website <http://www.toshicon.or.jp/>

編集責任者 須永和久